

季節や日常を言葉で表現

第9回市小・中学校俳句大会

市内の小学5・6年生と中学3年生を対象に同大会を開催しました。246点の応募の中から、特撰作品9点、秀逸作品18点、佳作27点を選出しました。

審査員からは、「年々、レベルが上がっている。自然現象と身近な日常を上手に組み合わせた句がたくさんあり、感心した」との講評がありました。

特選作品・受賞者一覧(敬称略)

○小学5年生の部

- ▷ポテト待つ ひとのおおさや なつまつり
松尾奏佑(春日北小学校)
- ▷夕焼けと 焼き芋屋さん 追いかける
瀬津田美初(春日東小学校)
- ▷ひまわりと 朝の光が 笑い合う
池田篤生(天神山小学校)

○小学6年生の部

- ▷ひまわりが 風にゆられて わらってる
津留いろは(春日南小学校)
- ▷熱帯夜 月も私も とけそうだ
長井涼香(天神山小学校)

- ▷風が吹き すずきがゆれて 波となり
野津泰輔(日の出小学校)

○中学3年生の部

- ▷合唱の 日々の練習 天高し
森山采音(春日中学校)
- ▷夏空と 見つめ合い打つ サープかな
後藤真悠(春日野中学校)
- ▷宅急便 祖母の畑の 秋だより
高橋那奈(春日北中学校)



▲5年生の部で特選を受賞した瀬津田さん

★表紙関連

何百年も続く伝統行事

国指定重要無形民俗文化財「春日の婿押し」



▲極寒の中での勇壮な樽せり

1月11日、春日神社で春日の婿押しが開催されました。前年に結婚した新郎新婦の祝福や青年の通過儀礼など、いくつもの行事が複合されたもので、氏子(三期組合)を中心に祭りが継承されています。

宿の行事(花婿あいさつなど)の後、神社前の御池で「樽せり」を開始。締め込み姿の男たちが勢いよく樽を割り、開運を招くといわれるその破片を奪い合いました。

第14回トライドリームカップ

九州大会優勝と全国大会出場を報告



▲同クラブの選手たち

1月6日、春日リトルラグーズクラブの選手たちが、令和7年11月に鹿児島県で行われた九州大会で優勝したことを井上市長に報告しました。

全国大会に向けて、キャプテンの原 秀太郎さん(春日東小学校6年)は「春日の代表として大きな舞台に立てることをうれしく思います。仲間を信じて全国大会の優勝報告を持って帰ります」と意気込みを語りました。



新婚の夫婦を地域で祝う

小倉地区伝統行事「嫁ごの尻たたき」

1月14日、小倉住吉神社で、嫁ごの尻たたきが行われました。花嫁が嫁ぎ先や地域に早く慣れるように、子宝に恵まれるようにとの願いが込められた祭りで、自治会を中心に地域の伝統行事として継承されています。

今年は、大島^{おおしまりゅうへい}竜平さん・あすかさん、田上^{たがみまさと}雅斗さん・真子^{まこ}さんの2組の夫婦を迎えて開催されました。まずは夫婦が神社に参拝し、神事を終えた後、左義長^{さぎちやう}に点火。勢いよく燃え上がる左義長の周りを、夫婦そろってゆっくりと1周し、その間、子どもたちがわらで作った棒で花嫁のお尻を優しくたたきました。

たくさんの人から祝福を受け、大島あすかさんは「子どもの頃に参加していた行事に、花嫁として参加できてうれしい。夫婦仲良く支え合っていきたい」、田上真子さんは「子どもたちも笑顔で、地域の人に祝ってもらえて幸せな気持ち。伝統行事にあやかって、夫婦の歴史も積み重ねていきたい」と晴れやかに語りました。



▲子どもたちに祝福される大島さん(上)と田上さん(下)

三松^{みまつ}スポーツボクシングジム

チャリティ益金を寄贈



▲左から中谷さん、市長、松尾さん

1月16日、同ジムの松尾^{まつおとものり}友徳会長が、令和7年12月7日にクローバープラザで行われたチャリティボクシング大会の収益の一部を、市スポーツ少年団へ寄付しました。

同少年団の中谷^{なかにしじゅんこ}純子本部長は、「子どもたちの健全育成を目的として活動を続け、今年で50周年になります。寄付金は大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。

第37回九州・山口少年相撲大会

優勝を市長に報告



▲獣相撲キッズの皆さん

1月14日、市を拠点に活動する獣^{ゆうずも}相撲キッズの皆さんが井上市長を訪問。令和7年10月に開催された同大会および第29回九電杯全九州わんぱく相撲大会、第18回九電旗全九州クラブ対抗ジュニア相撲大会で優秀な成績を収めたことを報告しました。

主将の鬼崎^{おにざき}昇^{しょういちろう}一朗さん(福岡市立三宅小学校6年)は「次の大会では、全員が良い成績が収められるように頑張ります」と力強く決意を述べました。